

<飲酒運転の撲滅に対する県民の意識について>

【調査の目的】

福岡県では、深刻な状況にある飲酒運転の撲滅を推進し、飲酒運転のない、県民が安心して暮らせる社会を実現するため、全国初の罰則付きの「飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」（以下「飲酒運転撲滅条例」といいます。）が平成24年9月に全面施行されました。本条例に基づき、本県では飲酒運転撲滅に係る様々な取組みを実施しています。これらの周知状況等について県民の皆様のご意見をお聴かせいただき、今後、取組みを推進する上での参考とさせていただきます。

【活用状況】

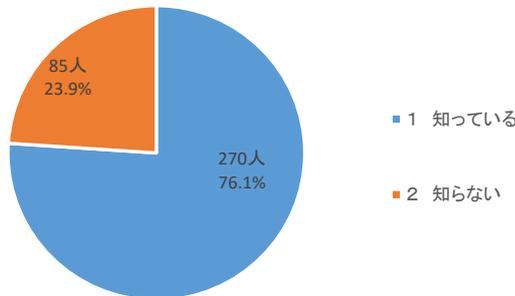
- ・飲酒運転撲滅条例の内容をはじめ、県で行っている飲酒運転撲滅対策に係る事業を広く県民に周知するための参考資料として活用
- ・来年度以降の飲酒運転撲滅キャンペーンの効果的な実施に向けた検討資料として活用
- ・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用

(人づくり・県民生活部生活安全課)

問1 あなたは、福岡県の飲酒運転事故件数が全国の中でもワーストレベル(参考:令和2年は全国ワースト7位)であることを知っていますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=355 選択は1つのみ)

1 知っている	76.1%	(270人)
2 知らない	23.9%	(85人)



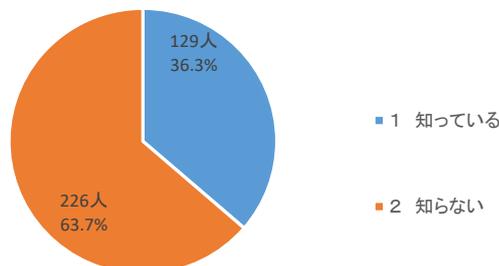
問2 福岡県では、更なる飲酒運転撲滅対策の強化と県民の意識改革を推進するため、令和2年6月に、飲酒運転撲滅条例が改正されました。あなたは、条例が改正されたことを知っていますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

※改正の詳細については、県ホームページ

(<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/inshujourekaisei2020.html>)をご参照ください。

(N=355 選択は1つのみ)

1 知っている	36.3%	(129人)
2 知らない	63.7%	(226人)

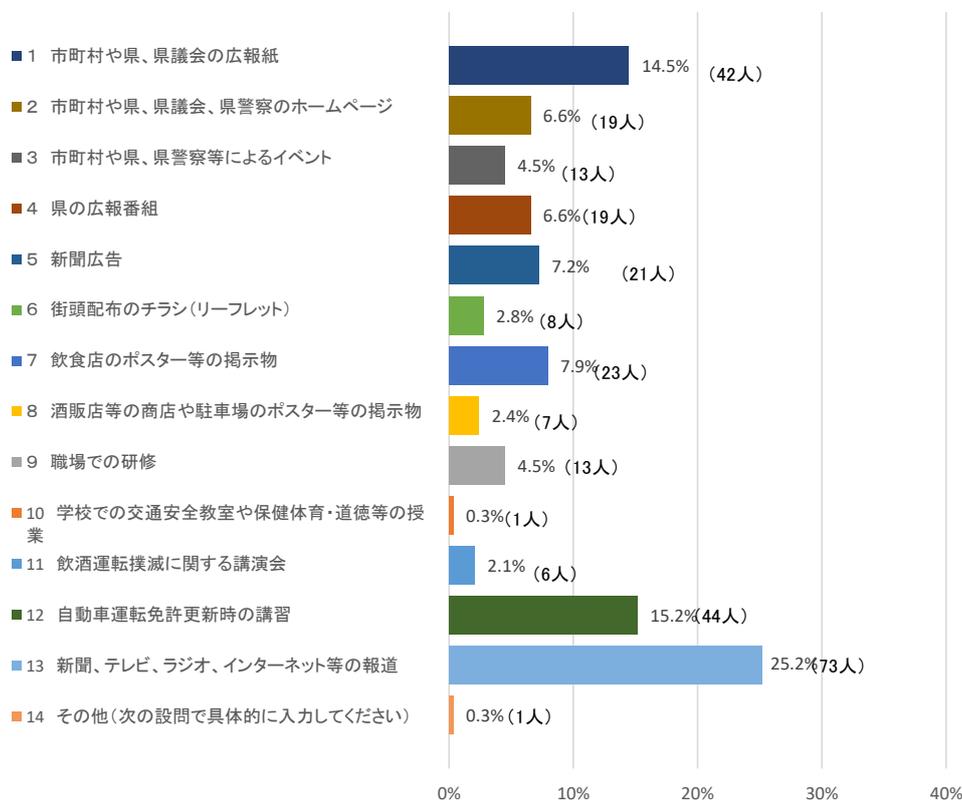


問3（問2で「1」を選択された方にお尋ねします。）

飲酒運転撲滅条例が改正されたことを知ったきっかけを、次の中から【全て】選んでください。

（回答者数129人、回答件数290件、複数選択可）

1 市町村や県、県議会の広報紙	14.5%	(42人)
2 市町村や県、県議会、県警察のホームページ	6.6%	(19人)
3 市町村や県、県警察等によるイベント	4.5%	(13人)
4 県の広報番組	6.6%	(19人)
5 新聞広告	7.2%	(21人)
6 街頭配布のチラシ(リーフレット)	2.8%	(8人)
7 飲食店のポスター等の掲示物	7.9%	(23人)
8 酒飯店等の商店や駐車場のポスター等の掲示物	2.4%	(7人)
9 職場での研修	4.5%	(13人)
10 学校での交通安全教室や保健体育・道徳等の授業	0.3%	(1人)
11 飲酒運転撲滅に関する講演会	2.1%	(6人)
12 自動車運転免許更新時の講習	15.2%	(44人)
13 新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等の報道	25.2%	(73人)
14 その他(次の設問で具体的に入力してください)	0.3%	(1人)



問3-2 問3で「14」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

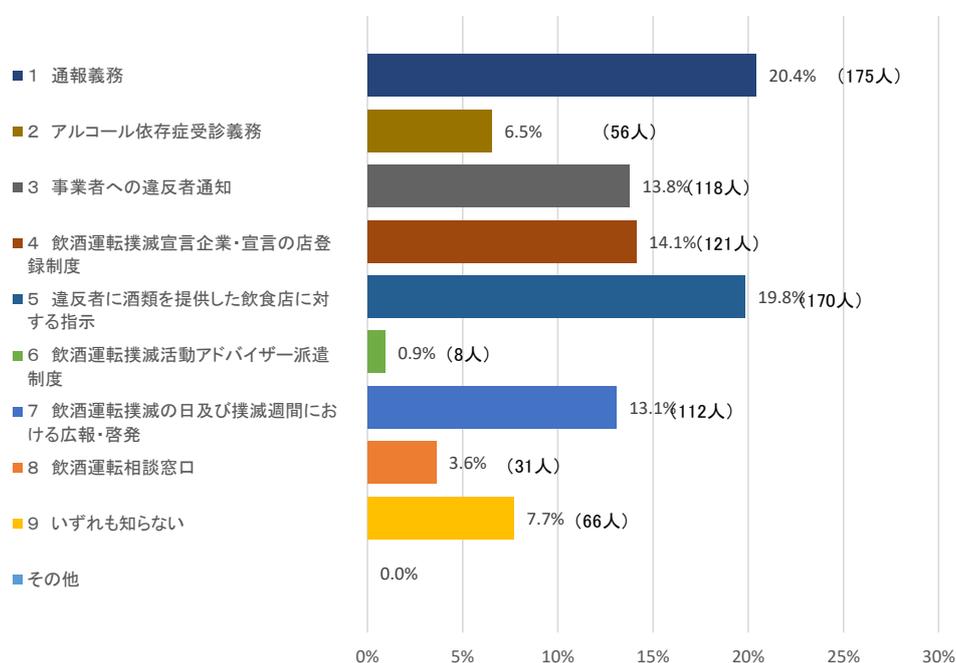
(N=1)

・公民館等の集会で一般住民を対象に飲酒運転撲滅条例の改正について説明会を実施し住民と意見交換をする

問4 飲酒運転撲滅条例に基づいて、福岡県では飲酒運転撲滅に向けた様々な施策を実施しています。県の施策のうち、あなたが知っているものはありますか。
次の中から該当するものを【全て】選んでください。

(回答者数355人、回答件数857件、複数選択可)

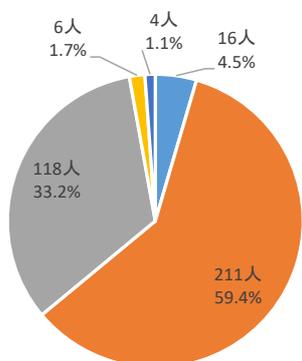
1 飲酒運転を見掛けたときの110番通報義務	20.4%	(175人)
2 アルコール依存症受診等義務	6.5%	(56人)
3 事業者への違反者通知	13.8%	(118人)
4 飲酒運転撲滅宣言企業・宣言の店登録制度	14.1%	(121人)
5 違反者に酒類を提供した飲食店に対する指示	19.8%	(170人)
6 飲酒運転撲滅活動アドバイザー派遣制度	0.9%	(8人)
7 飲酒運転撲滅の日及び撲滅週間における広報・啓発	13.1%	(112人)
8 飲酒運転相談窓口	3.6%	(31人)
9 いずれも知らない	7.7%	(66人)
10 その他(次の設問で具体的に入力してください)	0.0%	(人)



問5 近年における飲酒運転撲滅運動等をきっかけとして、ご自身や周囲の方々の飲酒運転撲滅に対する意識に何らかの変化がありましたか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=355 選択は1つのみ)

1 飲酒運転撲滅に対する意識を持っていなかったが、飲酒運転撲滅に対する意識を持つようになった	4.5%	(16人)
2 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っていて、更に強くなった	59.4%	(211人)
3 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っているが、特に変化はない	33.2%	(118人)
4 飲酒運転撲滅に対する意識を持っておらず、特に変化もない	1.7%	(6人)
5 その他(次の設問で具体的に記入してください)	1.1%	(4人)



- 1 飲酒運転撲滅に対する意識を持っていなかったが、飲酒運転撲滅に対する意識を持つようになった
- 2 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っていて、更に強くなった
- 3 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っているが、特に変化はない
- 4 飲酒運転撲滅に対する意識を持っておらず、特に変化もない
- 5 その他(次の設問で具体的に記入してください)

問5-2 (問5で「1」を選択した方にお尋ねします。)

飲酒運転撲滅に対する意識にどのような変化があったかを差し支えない範囲で具体的に記入してください。

(N=16)

- ・以前は、飲酒ししばらく寝るとか、酔いが醒めるまで休憩すればよいと思っていたが、アルコールが長い時間残ることを知り、自制するようになった。
- ・職場に行く時間がいつもより早い時、前日からお酒の量を気にする様になり、今は飲まなくなった
- ・自分は絶対に飲酒運転をしない自信があったが、他人にさせないという意識がなかった。
- ・私はまったくお酒を飲まないなので、飲酒運転をしていそうな車を見かけたら車間距離を十分にとって離れるようにはしている。明らかに疑わしい車は通報したほうがいいのかもしれないということを気に掛けるようになった。

問5-3 問5で「5」を選んだ場合は、その内容を具体的に記入してください。(抜粋)

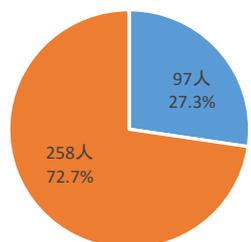
(N=4)

- ・私自身、飲酒運転は犯罪だと思い、したこともなく、すでに免許の自主返納もしたので、飲酒運転事故が報じられる度に自覚出来ていない人がまだいることにガッカリする。自覚を促し、飲食店の協力を得るくらいしか手がなさそう。
- ・最近飲酒した後女性の場合は何時間アルコールが残っているという情報をどこかで見かけて、普段飲まないが、ちょっとだけ飲んだからと、数時間では検出されることを知って驚いた。このような知識も広めてほしい
- ・身近に飲酒の習慣がある人がいないので。

問6 飲酒運転の撲滅について、これまでの設問以外に意見(飲酒運転の撲滅のために必要と思われること等)がありますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=355 選択は1つのみ)

1 ある	27.3%	(97人)
2 特にない	72.7%	(258人)



- 1 ある
- 2 特にない

問6-2 問6で「1」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(N=97)

○飲酒運転撲滅意識について

・取り組みを進めても、飲酒運転は減りません。つまり、運転者個々の意識や道徳観の問題ですので、教育の場で、各自の意識を高めるしかありませんですね。

・個人個人の責任だと思う。
・「破産に近い社会人否定くらい世間の目は厳しいものなんだ」の徹底を図るべき。
・検挙の頻度や場所を増やしてほしい。隠れて飲酒運転している人は沢山いるけど、自分は捕まらな
いと思っているので検挙で見つけてほしい。

・周りが気にかけて、お酒を飲んでいる人、行動を気にかけてあげないといけないと思った。

・飲酒運転により、自分や他者の人生を変えてしまった人間がとても特別な存在ではなく、いつでも
自分が当事者になる可能性がある緊張感を持たせるような機会がもっと多くなるといいと思う。

・海の中道の飲酒運転死亡事故の振り返りは毎年7月に継続してもらえるとより気を引き締めよう
という気持ちになると思います。

・私自身がそうであるように、飲酒をして運転することは、自分の命、他人の命を奪うことになる恐ろ
しいことだという認識を植え付けることが肝心だと思う。それには教育が必要。

○飲酒運転撲滅の取組について

・先日アルコール依存症のプロのドライバーが昼間から焼酎をあおって運転し、下校中の小学生を死
亡させた事件があった。勤務先も同僚も日頃からアルコール臭いことを感じていながら、具体的な防止
対策を打ってこなかったようです。一度アルコール依存症と診断されたドライバーは、免許更新の際に医
師の診断書、定期的に血中のアルコール濃度を計測したもの、などを提出させるなどの防止対策を行う
べきだと思う。

・車メーカーによる飲酒した場合に運転出来なくなる自動車の開発をさせる。

・義務教育の中で飲酒運転がなぜダメなのについてもっと取り上げたほうが良いと思います。

・酒を飲んで、車の運転をすることがいかに危険で、事故を起こした後の、加害者がどんなに大変か
ということ、車の免許をとった時、更新する時に十分に認知してもらう方法を考えて欲しい。今で
は、VRを使って体験できる方法もあるので、自動車学校などで広めてもらいたい。

・アルコール依存の方や常習者による運転の指導強化が必要ではないか。
・テレビやラジオでの意識づけが必要だと思います。特に週末の昼辺りの時間帯が効果的だと感じ
ます。

・飲酒運転が無くならないならば、飲酒運転出来ない車の仕組みを作ると良いと思う。そうするか、お
酒を無くす以外に飲酒運転が無くなる方法はないと思います。

・パトロールと飲酒検問を増やす。交差点にパトカーがいると抑止力になる。

・飲酒運転者が所属する会社や学校の社会的責任に対するペナルティの強化。

・県内でもっと飲酒運転撲滅のCMを流すべきだと思います。

以前、YouTubeで愛知県(たしか東海TVだったか?)で流れているCMで、交通事故被害者がその後
のエピソードを語っている内容を見て非常に心を打たれました。(交通事故で亡くなった息子がその
日の朝とりにこんでくれた洗濯物が10年経ってもしまえない母親の話、交通事故で亡くなった方々の靴
が次々に映し出され、最後は幼稚園児の上履きのカットになるなど。)そのようなインパクトがあり
印象に残るCM、広告があれば今以上に意識は変わるのではないのでしょうか。

・アルコール検知の自動制御搭載の自動車には、補助金制度導入又は飲酒運転された方は、強制的
にアルコール自動制御搭載車にしか乗れないようにする。

・もっと刑罰を厳しくしたほうが良いと思う。免許停止だけでなく今後免許取得不可など

・ちょっとだけなら…を許してしまう会社などが処罰を受けるのもよいと思います。優良企業では会社
の飲み会では「絶対ダメ」が周知されているのに公務員や名前が公表されてもわからないような会社
は徹底されていないのかも。企業処罰も必要だと思います。

・飲酒運転に対する広報活動を県民の身近に感じる活動をやって欲しい。ポスター等がもっと目に止
まる形になる様な感じがあれば良いのではと思う。

・もっと厳しい処罰が必要だし、警察の取り締まりもどんどん行うべき。飲酒運転者と提供者どちらにも。

・過去の事件について、定期的にみんなの目に触れる機会をつくってほしい。風化させないでほ
しい。

・飲酒を伴う食事をする際に、飲食店が徒歩圏内でない場合に、安全な代替手段としての公共交通
機関や代行運転サービス、タクシー等の利用に割引サービス(行政機関からの助成)などがあれば、
これらの利用が促進されるのではないのでしょうか。今後、新型コロナウイルスが落ち着いてきた際に、
飲食店利用の促進を図るという観点からも、有効ではないかと考えます。